

奨励賞



岩堀未来

設計者

岩堀未来

東京建築士会、岩堀未来建築設計事務所

共同設計者

長尾亜子

東京建築士会、長尾亜子建築設計事務所



長尾亜子

共同住宅(災害公営住宅)

福島県西白河郡矢吹町

矢吹町中町第二災害公営住宅

構造・階数

木造
地上2階

敷地面積

4,663.11㎡

建築面積

840.19㎡

延床面積

1,571.62㎡

竣工

平成28年4月25日



A

選評

福島県矢吹町は、2011年3月の東日本大震災において震度6弱を観測し、この地震による町内の全半壊戸数は総戸数の30%にもあたり、津波被災のない内陸部の市町村の中では最大の損壊率となった。町では、仮設住宅の建設、借り上げ住宅の用意などでこの被災に対応し、その後、4団地52戸の災害公営住宅の建設を計画、矢吹町中町第二災害公営住宅は、このうち23戸を5棟に分けて建設している。

敷地は緩やかな北斜面の不定形なもので、この緩傾斜を生かしてつくられた小さな外部空間のつながりが「公園の中の住宅」であるような設計意図を体現した。住戸は、2LDKフラットタイプ(1~2人世帯用)20戸と4LDKメゾネットタイプ(3~5人世帯用)3戸

で構成されている。

日本有数の森林面積を持つ福島県のメリットを活かし、「木造の採用を推進」することを提案して、北立面も美しい新しい景観を生み出すことに成功した。役場によると、ガラス面の多い立面は当初入居する住民にやや不安視されたが、実際に入居してみると、「意外に通行する人との視線は合わないですむ」風通しがよくエアコンが不要」と評判はよいとのことである。

「公営住宅」の新しい試みは、とかく行政レベルの壁があって、実現されないで終わる場合が多いが、ここでは町役場の理解と実現のための努力が結果の成功に大きく寄与している。

(松川淳子)



2階



1階

住戸平面図

B



C

D



- A 2号棟南面外観
- B 3号棟の大きな通間
- C 縁にわ越しに隣接住棟の北側を見る
- D 室内から見た縁にわ
- E ひろばと2号棟と3号棟
- F 4号棟と5号棟を見る。敷地内をみちが通る
- G 道路から住棟の北側を見る

写真...浅川 敏



E



F



G